

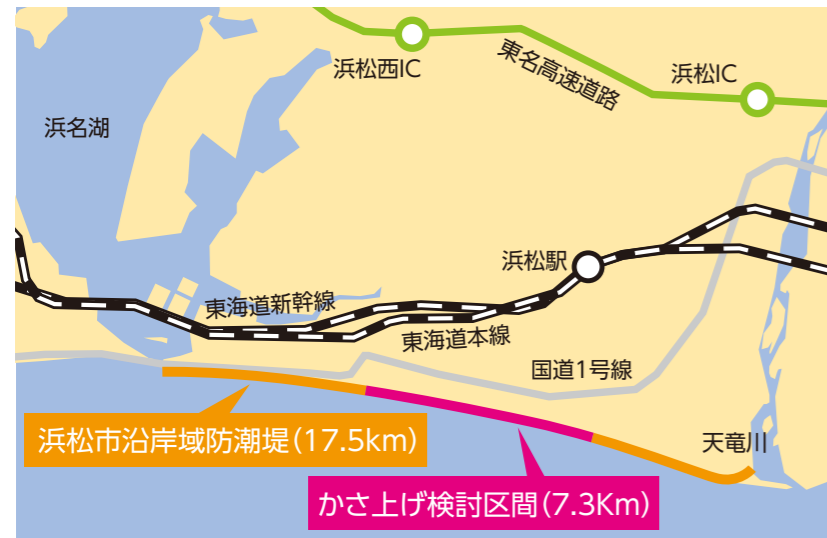
報告
REPORT

防潮堤工事について

第11回 浜松市沿岸域防潮堤整備推進協議会が行われ、整備状況の報告がありました。防潮堤17.5kmのうち、現在標高13mの築堤が完成しているのは、8.7kmです。平成30年5月には、さらに1kmが完成する予定です。

舞阪工区では、延長450m幅約30mにわたり、多量の食品容器等のビニール・プラスチック類と解体されたコンクリート塊などの廃棄物が確認されました。その対策として、50cmのコンクリートで被覆した盛り土構造の「土堤」への構造変更の説明がありました。県によると、廃棄物の撤去はせず、盛り土をしてコンクリートで覆えば流失や拡散の恐れがないため環境面の影響も少なく、工事費の増大や完成工期の遅れを避けられるとのこと。しかし、当初計画のCSG堤ではないため、堤の幅が20mから40mとなり海岸が狭くなることや保安林の再生が出来ないこと、風、飛砂の影響についても注意深く見続けていきたいと思えます。

また、新たに静岡県と浜松市が、中田島砂丘付近から篠原付近まで約7.3 kmの区間を当初計画の13mから最大15mにかさ上げする方針を固めました。追加工事分を含め、総事業費は337億4,000万円となる見込みです。浜松市は、事業費の不足分を平成30、31年度で計11億8,200万円負担する方針です。いずれの変更工事があっても、完成時期の変更はない予定です。



皆さまの暮らし、命を守る防潮堤の進捗状況です。



馬塚さやかにお声をかけてください

皆様の地域でイベントや会合などありましたら、お声をかけて下さい。馬塚さやかが、市政のご報告やご意見ご要望を伺います。一緒に考え、市政に活かしていきましょう。

市民相談について

〇〇ってどうなってるの?〇〇したいけど、どうしたらいいの?〇〇に困っている…身近な問題や疑問等、ご相談などありましたら下記までご連絡ください。

浜松市議会 市民サポート浜松 ☎053-457-2491
〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所7階 FAX 053-457-2490
E-mail sayaka.m@hamamatsu-shigikai.jp

NO.4
2018年

市民サポート浜松の 浜松市議会ニュース

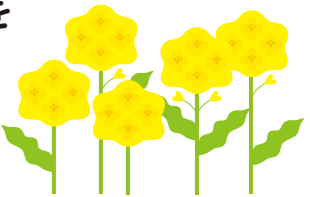
浜松市議会のご報告、議員活動などをお伝えします。

市民サポート浜松発行 / 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2 浜松市役所 7階 TEL.053-457-2491

●発行責任者/馬塚さやか



日頃より「市民サポート浜松 馬塚さやか」の議員活動を応援していただき、ありがとうございます。本年も、「市民が住みやすい浜松市であるように」精一杯尽力させていただきます。



報告
REPORT

区割り再編について

浜松市は、区再編の検討を進めるため、市議会の行政財政改革・大都市制度調査特別委員会に2区案2つと3区案1つを提示しました。

今後、現行の7区を維持する場合も含めて、住民サービスの向上や行政事務の効率化、メリット・デメリットなどが比較検討されます。

再編を検討する必要性として、合併協議当時は、人口減少・超高齢社会到来の影響などが十分に検証されたものではなかったこと、平成26年度に本市の人口を推計し、30年後の総人口と生産年齢人口の減少や後期高齢者の激増などの姿が明らかになったことなどを挙げています。また、政令指定都市への権限委譲、地域の産業構造の転換などもあり、

市民へのサービス提供体制や住民自治を考えていく必要があるとしています。

再編の効果は、利用頻度の少ない窓口業務や各区役所の事務作業を集約して、市全体で100人程度の人員を削減し財源の確保が出来るとしています。

今後の予定としては、平成30年4月から区協議会や自治会連合会などの意見聴取を始め、7月から全市民を対象に意見公募を実施したうえ、平成31年1月までに最終案を取りまとめ、2月に再編の有無を決定します。

今後の浜松市の在り方の大筋は、この一年間で決められます。市民の声を反映するために、ぜひ皆さまの積極的な意見を行政や議会にお寄せください。



浜松市が示した区割りの素案

案1

天竜区 + 浜北区 + 北区

中区 + 東区 + 西区 + 南区

案2

天竜区 + 浜北区

北区 + 中区 + 東区 + 西区 + 南区

案3

天竜区 + 浜北区 + 北区

中区 + 東区 + 西区 + 南区



浜松市議会報告



市民の皆さまに、
市議会の活動を身近に感じていただけるように努めます。

報告 REPORT 新野球場建設問題について

大型スポーツ施設調査特別委員会(以下特別委員会)では、新野球場建設を検討するにあたり浜松市に調査を要請した以下6項目について、平成29年12月に調査結果が報告されました。

1. 交通アクセス(鉄道駅・幹線道路)
2. 地形・地質(液状化)
3. 環境(アカウミガメ)
4. 気象(風の影響)
5. 気象(塩害)
6. 津波対策(浸水)



海岸に漏れるLED光/白羽海岸

平成29年9月撮影

調査の結果は、「3.環境」以外の5項目に対しては、技術的に対応が可能であると報告されました。しかし、「3.環境」の現地での影響調査で、ナイター等の照明がアカウミガメに対して悪影響を及ぼすことが明らかになり対策が必要であることが分かりました。

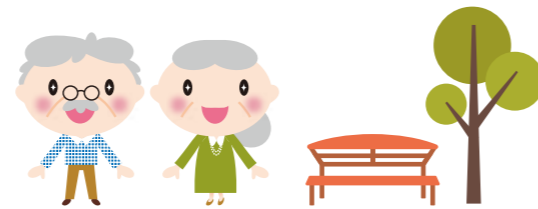
報告を受け、特別委員会としては「対策を施せば建設は可能であるが、現段階では適地・不適地の判断はせず」としました。浜松市は、この結果を県に報告し、県議会での議論を

進めて欲しいと要望しましたが、川勝県知事は、「市議会のもう一步進んだ判断が必要」との考えを示し、平成30年度予算に新野球場建設の関連経費の予算計上を見送りました。

しかし、特別委員会は、県の考えに対し「県から基本計画を示されなければどのような野球場建設を目指しているのか不明確で、一步進んだ判断はできない」としています。

浜松市は、平成30年度予算案に用地取得に向けた測量・物件調査費2,770万円を盛り込んだため、今後、市議会で審議をします。

また、篠原地区の新野球場の建設には、市民のコンセンサスが十分に得られていないとの意見も多く、環境への影響や用地買収、液状化対策のための巨額な費用も必要なことから、今後も検討を続けていきます。



ひとこと

アカウミガメは、ジャイアントパンダと同等の国際的な保護動物です。静岡県も希少野生生物に指定して保護を進め、浜松市は指定文化財として30年に亘り保護しています。しかし、野球場の夜間照明があると、子ガメは海の方が分からなくなり死亡する危険性が高くなります。環境への影響を最小限に抑え人間と生物の共存を図るためには、上空に漏れる光を遮断できるドーム型にすることが望ましいと考えます。

報告 REPORT 上水道民営化検討について

浜松市は、水道事業で施設の所有権を持った状態で運営権を民間事業者へ売却する「コンセッション(官民連携手法)方式」の導入を検討しています。浜松市が、こうした官民連携導入の検討する背景には、少子化社会を迎え税収入が下降線をたどることが必至であることや、今後、老朽化する施設や水道管の耐震化・施設の更新・従事者の高齢化による技術者不足などへ対処するためと考えているようです。

一方、水道料金の高騰や水質の悪化、災害時の対応など、民間事業者に市民の命の水の管理運営を任せることに不安を感じる声も多く聞かれます。今後、水道事業収支の試算を的確に実施して、市民が将来にわたり安心・安全な水を享受するためにはどのようにすべきか、良好な財政状態にある現在にこそ、議論を深めていく必要性を感じます。



大原浄水場/北区大原町

平成30年2月撮影

コンセッション(官民連携手法)方式とは

施設の所有権を自治体に残したまま、一定期間、施設整備や公共サービスの提供などの事業運営権を民間企業に売却する仕組み。自治体には売却益が入り、運営のための財政負担がなくなる。民間事業者の経営手法やノウハウの活用によって公共サービスの向上を図る。民間の投資で経済成長を目指す内閣府が自治体の導入を推進しているが、民営化に対する市民の抵抗感が強く、現在のところ浜松市以外で実施を検討・予定している自治体はいない。

報告 REPORT 下水道民営化について

浜松市は、上水道民営化に先立ち、今まで委託事業としていた西遠処理区の下水道事業をフランスの大手水道事業運営会社ヴェオリア日本法人を核とした6社の企業連合「浜松ウォーターシンフォニー株式会社」と平成29年10月にコンセッション方式により契約を締結しました。これにより、浜松市の下水道施設の運営権を25億円で売却し、平成30年4月から20年間(延長の場合は最長25年間)の下水道事業の運営を民間企業に任せる事になりました。これは、日本国内で初めての事例となります。



西遠浄化センター/南区松島町

平成30年2月撮影

告知! 議会質問について

- 日時:平成30年3月12日(月)10時～
- 場所:浜松市役所8階の議場

3回目の議会質問を行います。
ご都合がよろしい方は、ぜひ傍聴席で聴いて下さい。

